



大阪市住之江区に本社を構えるセイコー運輸。従業員10人以下の小さな運輸会社だが、そこが始めた高齢者向け引っ越しサービス「シルバー住むーぶ」が好評だ。ことしの成約は、昨年の2倍以上の100件を突破。大手企業が手掛けないサービスにターゲットを絞り、着実に売り上げを伸ばしている。

大阪市住之江区に本社を構えるセイコー運輸。従業員10人以下の小さな運輸会社だが、そこが始めた高齢者向け引っ越しサービス「シルバー住むーぶ」が好評だ。ことしの成約は、昨年の2倍以上の100件を突破。大手企業が手掛けないサービスにターゲットを絞り、着実に売り上げを伸ばしている。

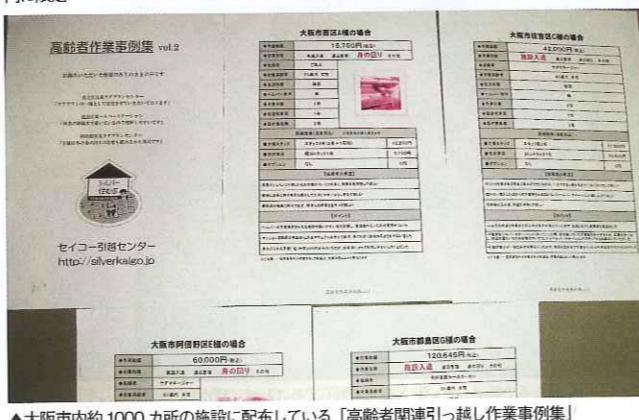
このサービスでは、普通の引っ越し会社ではやらないような内容まで手掛けることにした。つまり、荷物の梱包や移動、荷解きだけでなく、不要品、家財道具、遺品の処分、部屋の掃除なども請け負うようにしたのである。

しかし、このサービスが受け入れられるまでは苦労の連続だったそうだ。まず、認知してもらうために、高齢者がいそうな家を無作為に選んでチラシを配布。タウンページに広告を掲載するなどのPR活動をした。しかし、これにはほとんど反応がなかった。それでも当然だった。介護施設に入居するような高齢者の場合、サービスの内容を理解できない人や、タウンページを利用できない人も多いからだ。

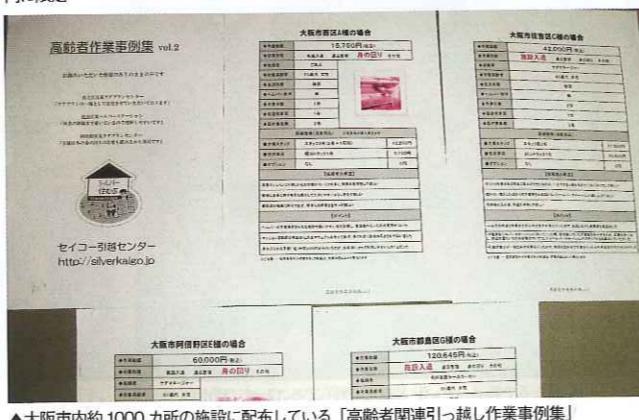
そこで、自社のPR資料とカレンダーをプラスチック製の透明な箱に入れて、ケアプランセンターなどの介護事業所に送ることにした。ここでは、ちゃんと趣旨は理解してもらえたものの、門前払い

このサービスでは、普通の引っ越し会社ではやらないような内容まで手掛けることにした。つまり、荷物の梱包や移動、荷解きだけでなく、不要品、家財道具、遺品の処分、部屋の掃除なども請け負うようにしたのである。

このサービスでは、普通の引っ越し会社ではやらないような内容まで手掛けることにした。つまり、荷物の梱包や移動、荷解きだけでなく、不要品、家財道具、遺品の処分、部屋の掃除なども請け負うようにしたのである。



▲「タイムレンタル住むーぶ」では、運転手付きのトラックを1時間5250円(平日)からレンタルすることができる。なお、走行距離はセイコー運輸本社から100km圏内に限定



▲大阪市内約1000カ所の施設に配布している「高齢者関連引っ越し作業事例集」

新たなサービスを開始

「要介護者の引っ越しは、どの程度自分で体を動かせるのか、どのようないい介添えが必要としているのか、それを把握することが重要なんですね。有資格者ならその辺りを理解しながら、より細かいサービスが提供できるわけです。普通の引っ越し業者だと、スタッフが介護の訓練を受けているわけではありません。そのため、専任の介護スタッフが、常時そばに付いて

いないければならないんです。その点当社の場合、私が立ち会いますの

で、介護スタッフの人が今困っていることや、必要なサービスなどについて話してくれるようになつた。それから1ヵ月後、施設の紹介で要介護者の引っ越しを任せられたのだ。

同社では手掛けた引っ越しを「高

齢者関連引っ越し作業事例集」という形でまとめ、それを介護事業所などへの訪問営業用ツールとして生かしている。そこには、依頼者の年齢、作業内容、料金などが具体的に記載されているため、イメージがつかみやすいのだ。さまざまな努力が奏功し、引っ越しの依頼は年々増加。サービス開始から約6年間で3000件を突破した。

そして、ことし6月には「シルバー住むーぶ」をアレンジした新たなサービス「タイムレンタル住むーぶ」を開始した。これは、より気軽に利用してもらえるように、料金体系を時間制にした運転手とトラックの貸し出しサービスだ。

演奏会に参加する吹奏楽部など、学生のサークル活動が主な対象で、「人手と時間はあるが機材を運ぶ車両がない」という学生のニーズに応えるために始めたそうだ。

「運送業はなくなることはあります。そして、地元に浸透しつつある『シルバー住むーぶ』をさらに進化・深化させ、エリアを大阪市内から

ぞんざく増やしていくたいと思います。そして、地元に浸透しつつある『シルバー住むーぶ』をさらに進化・深化させ、エリアを大阪市内から

地域密着の高齢者向け引っ越し事業で新たな市場を構築する

大阪市
セイコー運輸

大阪市住之江区に本社を構えるセイコー運輸。従業員10人以下の小さな運輸会社だが、そこが始めた高齢者向け引っ越しサービス「シルバー住むーぶ」が好評だ。ことしの成約は、昨年の2倍以上の100件を突破。大手企業が手掛けないサービスにターゲットを絞り、着実に売り上げを伸ばしている。

介護スタッフの苦労に注目

「運送業界を取り巻く環境は、年々厳しくなっており、大手がそれまで手掛けなかつたような細かい仕事をまでやるようになりました。それにつれて価格競争が激しくなり、わが社がその渦に巻き込まれないためには、何か今までとは違う独自のサービスを始める必要があるのです」

セイコー運輸専務の宮高豪さんはこう話し始めた。同社は、昭和56年、豪さんの父であり社長の浩さんによつて設立された。最初は軽貨物運送を手掛け、その後、一

般貨物自動車運送事業の許可を取得し、チャーター便をメインにビジネスを開拓。バブル景気に乗り、業績は順調に拡大を続けた。ところが、突然のバブル崩壊で、マンだつた豪さんは、父親の会社の状況を確認するため、決算書を見

せてもらった。
幸い、貸しはがしなどには遭つていなかつたが、売り上げが下降線をたどつていた。父親にその打開策を聞いてみると、「困つている社だけ。そこで、豪さんは父親の会社を手伝うことを決意し、平成10年にセイコー運輸に入社した。

「地域密着をキーワードに、大手がまねのできないサービスはないだろ

うか」――。豪さんはさまざま

勉強会やセミナーに参加しながら、新規ビジネスを模索した。そして、11年に引っ越し事業を立ち上げる

ことを決意。まず、学生やOL向

けのサービスを展開した。

しかし、不景気のため、家から離れているといふことを知ったので政も困つてたんです。それで、要介護者が老人ホームや介護施設に入居する際の引っ越しサービスを始めれば、新たな需要がつくれる、と考えたのです」と豪さんは説明する。

「普段の生活の中で介護スタッフが要介護者の家財道具整理や掃除、ペットの世話を強いられ、非常に苦労しているということを知ったので入居する際の引っ越しサービスを始めたのですが、それがつくれる、と考えたのです」と豪さんは説明する。

開始に当たつて、名前を付けてブランド化した方が覚えてもらえた。

そして、ことし6月には「シルバー住むーぶ」をアレンジした新たなサービス「タイムレンタル住むーぶ」を開始した。これは、より気軽に利用してもらえるように、料



▲「最近は介護施設だけではなく、行政からの問い合わせも多くなっています」と話す宮高豪専務



▲利用の流れ
運転手付きで21箇所まで時間貸しのトラック便
+ タイムレンタル
住むーぶ
★運送直送法80条に基づくレンタルカー業ではありません。セイコー運輸株式会社 0120-73-1339